１　労働力状態

労働力率は低下

平成12年における15歳以上人口(226万7543人）の労働力状態をみると、労働力人口（就業者及び完全失業者）は135万3792人で、平成７年に比べ９万6522人(6.7%)減といる。また、労働力率（15歳以上人口に占める労働力人口の割合）は59.7%で、平成７年に比べ4.9ポイントの低下となっている。

労働力人口を男女別にみると、男性は 80 万6603人(労働力率は73.1%)、女性は54万7189人（同じ47.0%）で、男性が約６割を占めている。平成７年と比べると、男性が 8.6%、女性が 3.6%の減少となっており、労働力率は男性が7.5ポイント、女性が2.4ポイント低下している。

一方、非労働力人口（家事従事者、通学者、高齢者など）は83万866人で、平成７年に比べ５万6507人（7.3%）増となっている。

昭和 45 年以降について労働力人口の増加率の推移をみると、昭和55年までは減少傾向にあったが、昭和60年から増加に転じた。平成７年～12年は6.7%の減少となり再び減少に転じた。

これを男女別にみると、男性は昭和55年まで減少傾向にあったが、昭和60年から増加に転じた。平成７年～12年は8.6%の減少となり再び減少に転じた。一方、女性は、昭和50年まで減少していたが、55年以降増加に転じた。平成７年～12年は3.6%の減少となり再び減少に転じた。

（表１－１、１－２、図１－１、１－２）

図１－１　労働力人口の年齢構成（平成７年・12年）

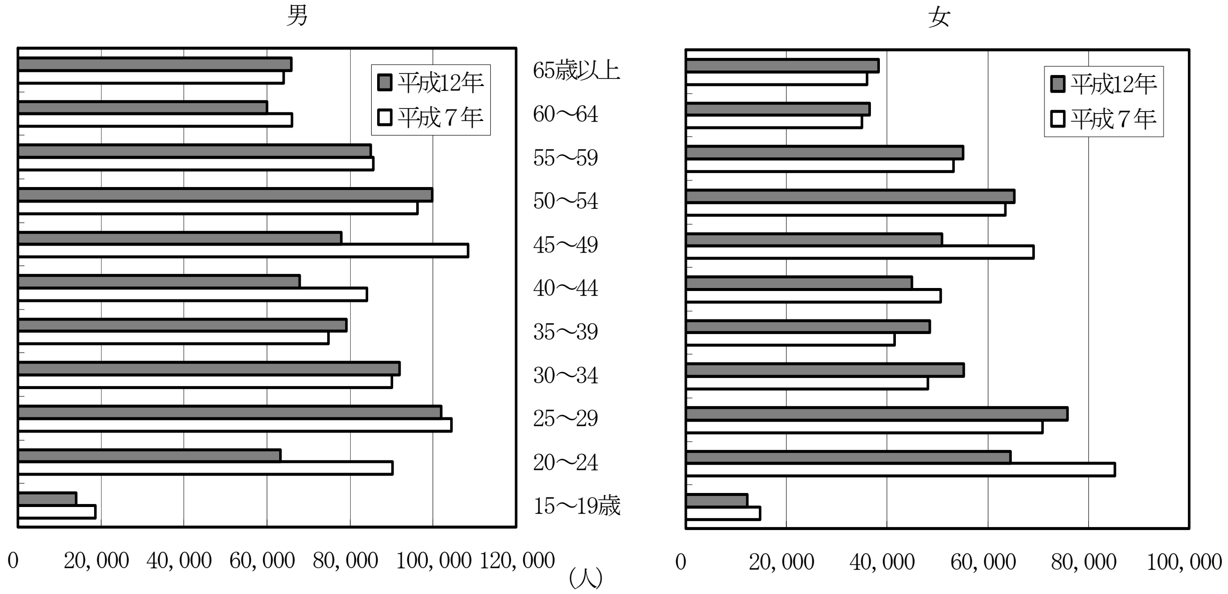


表１－１ 労働力状態別、男女別15歳以上人口の推移（昭和45年～平成12年）

	総数 (1)	労働力人口			非労働力人口	労働力率 (%)	就業率 (%)
		総数	就業者	完全失業者			
総　数							
昭和45年	2,334,466	1,540,352	1,510,895	29,457	793,984	66.0	64.7
50年	2,162,194	1,405,949	1,351,396	54,553	756,245	65.0	62.5
55年	2,102,024	1,354,502	1,298,054	56,448	741,652	64.4	61.8
60年	2,156,878	1,391,145	1,310,666	80,479	759,534	64.5	60.8
平成２年	2,208,547	1,423,615	1,345,405	78,210	765,173	64.5	60.9
７年	2,244,627	1,450,314	1,336,176	114,138	774,359	64.6	59.5
12年	2,267,543	1,353,792	1,231,235	122,557	830,866	59.7	54.3
男							
昭和45年	1,160,241	1,011,112	989,998	21,114	149,016	87.1	85.3
50年	1,061,944	905,678	863,744	41,934	156,266	85.3	81.3
55年	1,024,491	849,230	807,279	41,951	173,148	82.9	78.8
60年	1,050,045	860,416	803,665	56,751	186,088	81.9	76.5
平成２年	1,077,742	871,414	818,019	53,395	194,327	80.9	75.9
７年	1,094,382	882,461	805,694	76,767	198,873	80.6	73.6
12年	1,102,705	806,603	725,668	80,935	242,760	73.1	65.8
女							
昭和45年	1,174,225	529,240	520,897	8,343	644,968	45.1	44.4
50年	1,100,250	500,271	487,652	12,619	599,979	45.5	44.3
55年	1,077,533	505,272	490,775	14,497	568,504	46.9	45.5
60年	1,106,833	530,729	507,001	23,728	573,446	48.0	45.8
平成２年	1,130,805	552,201	527,386	24,815	570,846	48.8	46.6
７年	1,150,245	567,853	530,482	37,371	575,486	49.4	46.1
12年	1,164,838	547,189	505,567	41,622	588,106	47.0	43.4

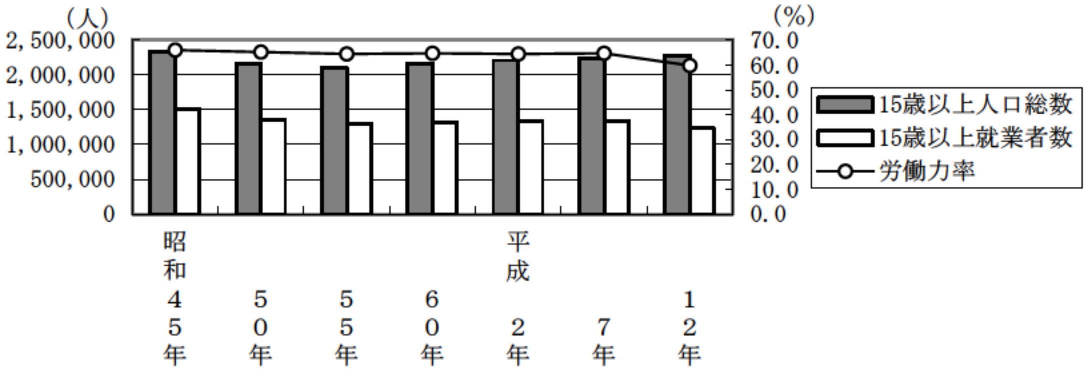
総数(1)には労働力状態「不詳」を含む。

表１－２　労働力状態、男女別15歳以上人口の増加率の推移（昭和45年～平成12年）

(%)

男　女　、　年　次	総　　数	労　働　力　人　口			非労働力人口
		総　　数	就　業　者	完全失業者	
総　　数					
昭和45年　～　50年	△　7.4	△　8.7	△ 10.6	85.2	△　4.8
50　～　55	△　2.8	△　3.7	△　3.9	3.5	△　1.9
55　～　60	2.6	2.7	1.0	42.6	2.4
60　～　平成２年	2.4	2.3	2.7	△　2.8	0.7
平成２　～　7	1.6	1.9	△　0.7	45.9	1.2
7　～　12	1.0	△　6.7	△　7.9	7.4	7.3
男					
昭和45年　～　50年	△　8.5	△ 10.4	△ 12.8	98.6	4.9
50　～　55	△　3.5	△　6.2	△　6.5	0.0	10.8
55　～　60	2.5	1.3	△　0.4	35.3	7.5
60　～　平成２年	2.6	1.3	1.8	△　5.9	4.4
平成２　～　7	1.5	1.3	△　1.5	43.8	2.3
7　～　12	0.8	△　8.6	△　9.9	5.4	22.1
女					
昭和45年　～　50年	△　6.3	△　5.5	△　6.4	51.3	△　7.0
50　～　55	△　2.1	1.0	0.6	14.9	△　5.2
55　～　60	2.7	5.0	3.3	63.7	0.9
60　～　平成２年	2.2	4.0	4.0	4.6	△　0.5
平成２　～　7	1.7	2.8	0.6	50.6	0.8
7　～　12	1.3	△　3.6	△　4.7	11.4	2.2

図１－２　15歳以上人口、就業者数及び労働力率の推移（昭和45年～平成12年）



女性の 30～34 歳の労働力率は上昇傾向

平成 12 年の男女別労働力率を年齢階級別にみると、男性は 30～34 歳から 50～54 歳までの各年齢階級が 90%台と高くなっている。また、女性は 20～24 歳の 66.8%と 45～49 歳の 63.7%を頂点とし、30～34 歳の 54.6%を谷とするM字型となっている。（表１－３、図１－３）

表１－３　年齢（５歳階級）、男女別労働力率の推移（昭和55年～平成12年）

（%）

男女、年齢	昭和55年	60　年	平成２年	7　年	12　年
男	82.9	81.9	80.9	80.6	73.1
15～19歳	23.9	24.5	25.4	23.5	20.2
20～24	74.0	76.2	77.8	76.4	66.1
25～29	97.8	97.0	96.0	95.4	87.1
30～34	98.9	98.4	97.4	97.1	90.7
35～39	99.0	98.8	97.8	97.6	91.9
40～44	98.8	98.7	97.8	97.3	92.6
45～49	98.2	98.2	97.7	97.2	91.7
50～54	97.5	97.3	96.8	96.5	91.4
55～59	94.8	94.5	94.5	94.6	88.9
60～64	83.7	81.5	79.3	80.5	71.1
65歳以上	50.6	45.0	42.5	43.3	35.4
女	46.9	48.0	48.8	49.4	47.0
15～19歳	22.2	21.6	21.8	19.5	18.3
20～24	72.1	73.0	74.6	72.9	66.8
25～29	50.3	53.8	60.1	64.9	64.6
30～34	46.3	47.3	48.6	53.0	54.6
35～39	54.4	56.2	55.2	56.3	56.9
40～44	58.3	63.7	63.2	62.1	63.0
45～49	58.0	63.3	66.1	65.5	63.7
50～54	56.6	58.2	62.1	64.3	63.5
55～59	50.3	49.8	52.4	56.9	57.6
60～64	39.8	38.1	38.3	40.2	40.7
65歳以上	17.9	16.2	16.2	16.5	14.8

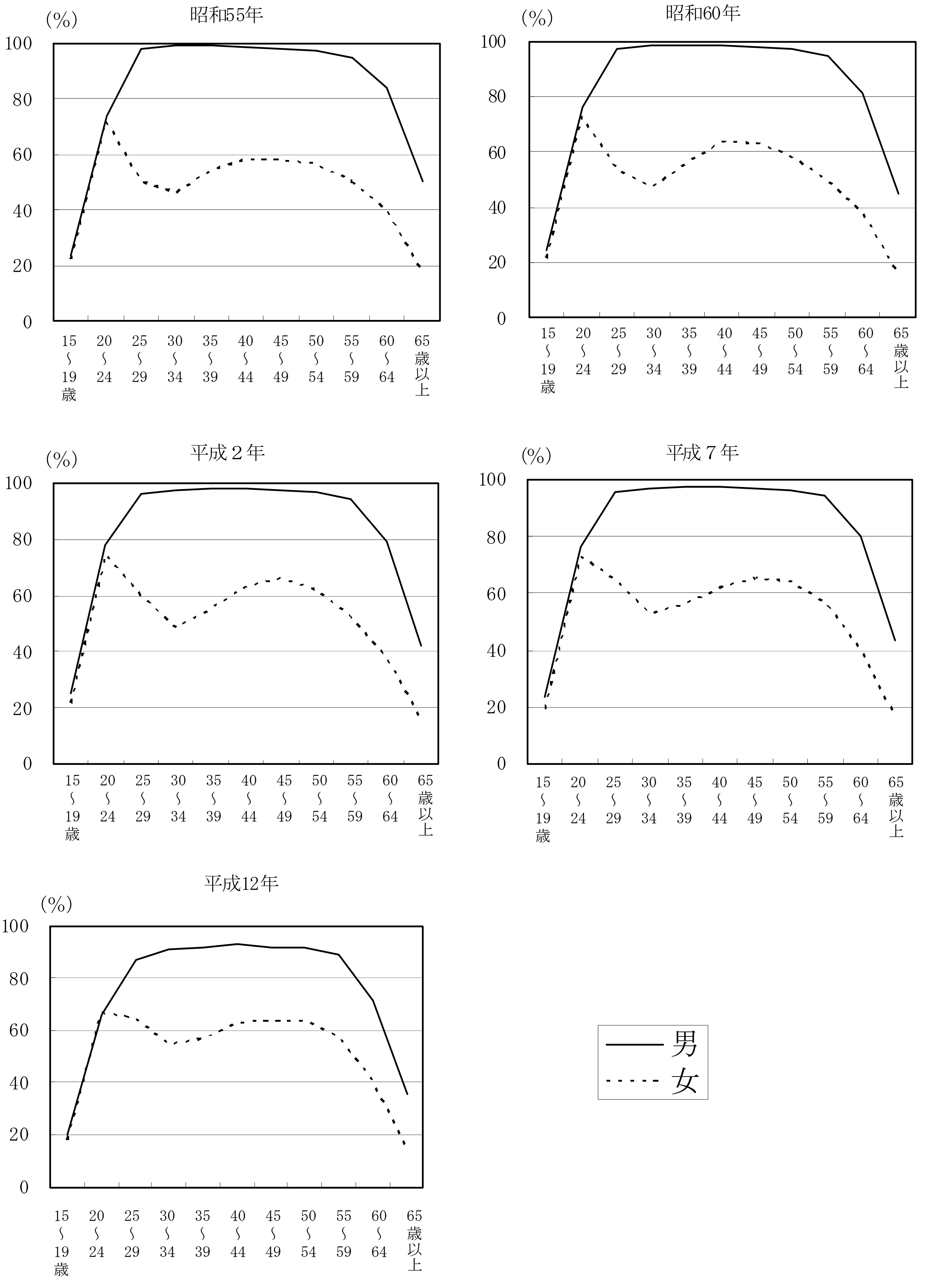



図１－３　年齢（５歳階級）、男女別労働力率（昭和55年～平成12年）